

「あいりん地域のまちづくり検討会議」

傍聴者によるワークショップ（ルールある井戸端会議）の進め方について

★はじめに

傍聴者のみなさんも、いろいろなご関心、期待、要望、疑問、懸念があつて今回の会議に参加されていると思います。傍聴者のみなさんのいろいろな思いや考えを紙に書いて表現していただき、一覧表を作り、みなで眺められるようにして、検討委員や有識者、そして大阪市区行政に伝え、一緒に議論を進め、この地域の将来を模索していきたいと思ひます。

★作業の手順

- 傍聴者の皆さんには筆記用具、横長付箋紙3枚をお渡しします。
- 1枚の横長付箋紙には、必ず1つの意見を記入して下さい（2つ意見がある人は、別々の付箋紙に1つずつ書いて下さい）。
- 壁に大きな模造紙が3セット貼つてあります。自分の書いた意見が「検討会議に対する期待や要望」であれば、そのタイトルが書かれてある模造紙に、自分の書いた意見が「検討会議に対する疑問や懸念」であれば、そのタイトルが書かれてある模造紙に貼つて下さい。そのどちらにも当てはまらない意見は「その他」と書かれてある模造紙に貼つて下さい。
- 進行役（ファシリテーター）が、各模造紙に貼られた意見の付箋紙を、内容毎に整理して並び替えます（出された意見は、すべて記録として残します！）
- 整理ができれば、傍聴者の皆さんと内容を検討、確認します。
- 検討会議の各班からの報告の前か後に、全体に向かって傍聴者からの意見を進行役が発表し、全体で共有します（傍聴者からの質問や要望に対して、その場で答えられるものは、鈴木座長から答えていただき、その場では回答できないのものは、後日、文書での回答になります）。

では、一人一人の意見を尊重し、大切にしながら作業を進めていきましょう！